

医療保険による訪問看護(訪問リハ)の適用ができます

医療保険による訪問看護

地域の皆様、ご存知ですか？末期の悪性腫瘍など、厚生労働大臣が定める疾病等に該当する場合には、介護保険ではなく医療保険による訪問看護が適用できます。

医療保険による訪問看護を効果的に使う

重度の褥瘡や急な症状悪化の場合、退院直後、看取りの体制に入った時などは、特別訪問看護指示書の交付により医療保険による訪問看護が使えます。在宅ケアにおいて、介護保険は支給限度額があるため医療保険で訪問看護を利用することで介護サービスをより多く使うことができます。医療保険による訪問看護の利用が在宅医療の鍵となりますので、医師やケアマネジャーによく相談しましょう。また、訪問看護ステーションからの訪問リハビリも、この適用のうちに含まれます。以下は、医療保険による訪問看護からの訪問リハビリの支援事例です。

生活基盤が整い、日帰り旅行が達成出来た症例

パーキンソン病(現在ヤール4、生活機能障害度2)を発症されたA様。約4年半前に生活の中での移動がスムーズに行えなくなり、約半年前に服薬管理と生活環境の安定のため、訪問介護を週2回導入。以後、日常生活が安定して送れるようになり、旅行リハへ参加し、愛媛県への日帰り旅行が行えた。現在の目標は、「近くの公園に咲いている桜を鑑賞しに行く」。多職種連携により目標設定から目標達成に繋がった。

事例発表会にて優秀賞を受賞

平成28年2月20日(土)、TKP東京駅大手町カンファレンスセンター22F(東京都千代田区大手町)にて、第10回全国事例発表会<主催:『民間事業者の質を高める』



(一社)全国介護事業者協議会(略称:民介協)>が開催されました。

本大会では「利用者や家族のしあわせ・笑顔につながったサービス」をテーマに、全国から選出された選りすぐりの介護サービス事例が紹介されました。

民介協 佐藤理事長の御挨拶では、昨年から介護の暗いニュースが報じられていることに触れ、私たちの仕事は誇りある仕事であり、業界のイメージアップを担っていく気概で、質の高いサービスを目指しましょう。と力強くお話をされました。発表は厳選された8事例が紹介され、中国地区の代表として、藤田寛也さん(中洲センター)と難波真由さん(本部センター)は、「本人の興味関心をヒントに支援展開した、就労支援の事例」というテーマで発表されました。デイサービス(以下デイ)で関わった利用者様の、職歴や関心を聞き流さず、就労に繋がる動作をデイで訓練し、NPO法人未来想像舎和久の就労継続支援B型作業所へ参加できるようになった事例でした。表彰式では見事、優秀賞を受賞致しました。

質の高い介護とは、健全な事業者とは、「なんとなくできた」「偶然できた」ではなく、説明ができるケアが求められています。

第5回 Chaya の市開催

平成28年
3月12日(土)
10時~14時

地域の方主体での健康教室やフリーマーケットを開催します。

●地域サポーターによる健康教室●

日時	3月12日(土) 11:30~12:30
場所	創心会リハケアタウン東館研修室
参加対象者	小中学生以上・高齢者の方
内容	子どもから大人まで分かる認知症講座/健康教室
講師	創心会 塩見(作業療法士)・浦道(認知症デイサービス管理者) 泉(デイサービス管理者)

フリーマーケットも
同時開催!! (出店無料)

雨天中止

申し込み切: 3月4日(金)

場所
創心会リハケアタウン
東館駐車場

出店不可の物

飲食品・お酒・たばこ・医薬品・偽ブランド品・高額商品など

受付TEL
086-420-1500
(Chayaの市実行委員)



心創から



リハビリ倶楽部児島 機能訓練の様子

感謝の気持ちをかたちにする

01 創心会児島地域リハビリケアセンター
創立10周年感謝祭のご案内

- 02 感謝・感動・ど根性!
- 03 もっと知っていただきたいリハのこと
- 04 第10回全国事例発表会
- 05 第5回 Chaya の市開催

01

創心会児島地域リハビリケアセンター

創立10周年感謝祭のご案内

皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、児島センターは平成28年2月1日をもちまして創立10周年を迎えました。つきましては、皆様へのお礼といたしまして、児島センター10周年感謝祭を開く運びとなりました。

この節目の年を無事に迎える事が出来たのも、ひとえに皆様方のお陰と感謝の念に堪えません。感謝の気持ちを形にすべく、祭りは2大イベントを企画しております。

まず一つは「旅リハ」です。これは弊社が以前より取り組んでいた「旅」と「リハビリテーション」をコラボレーションした企画で、旅を通して“もっと出来るをもっと知る”という新しい自分を発見していただく企画となります。以前参加された方からは、大変ご好評のお言葉をいただいております、これからも地域に必要な企画であると確信し、定期的に開催しております。

ただし、今回の旅リハは通常と異なる点があります。それは弊社デイサービスのご利用者様が行き先を「自律的」に選択された点です。

方法は児島センタースタッフが男性群・女性群の2つのチームに分かれ、各々の旅行プランを企画し、ご利用者様にプレゼンテーションを実施します。両チームのプランを比較検討し、ご利用者様全員が投票にて選んでいただきます。接戦の結果、この度は男性群がプレゼンした広島県は福山市「鞆の浦の素敵な海の物語」が勝利し、**平成28年5月15日(日)実施が決定しました**。今から旅リハを楽しみにされている雰囲気溢れ、児島センターは今活気づいています。

二つ目は、旅リハの翌日から**一週間(5月16日～20日)行われる感謝祭**です。

テーマは「感謝」と「主体的・自主・自律」です。感謝祭の2つの目玉として、①特別講演、②記念講演を予定しております。特別講演では、ゲストを招き、講演を開いていただきます。誰にどのような講演を開いてほしいかはご利用者様が検討します。記念講演は講演者がご利用者様です。特技・名人芸・趣味・作品・日頃取り組んでいるリハビリテーションの成果など多岐にわたった内容で皆様披露していただきます。

ここだけの話、感謝祭の裏の目的としては、「当日に向けた準備」にこそある、とスタッフ一同認識しています。祭りの準備を「主体的・自主・自律」の姿勢で取り組む過程は介護保険の基本理念である「自立支援」に沿うものです。準備を通して、自分には何が出来るか、どんな自分になりたいか、そのために今日から何をすべきかを、お一人おひとりが考えていただくこそが何より重要であると考えています。祭り当日に向け、それぞれが目標を掲げ、自主的に取り組む生活が演出できれば、この度の10周年感謝祭の真の目的は達成されたいと言えます。

その真の目的が達成できるように、スタッフ一同でコーディネートしている真っ最中です。5月の祭りに向けて児島センターは今活気づき、大変盛り上がっています。当日はきっとかけがえのない時間が皆様と共有できると確信しています。お時間の許す方はぜひお立ち寄りくださいませ。スタッフ一同楽しみにお待ちしております。

お問い合わせ

創心会児島地域リハビリケアセンター
〒711-0911 倉敷市児島小川8丁目1-8
TEL:086-474-8845



担当:武田



02

感謝・感動・ど根性!

岡山県6次産業化セミナーに
ど根性ファームが紹介されました

平成28年2月9日、10日にかけて開催された、岡山県農林水産総合センター主催『企業の農業参入に向けた6次産業化セミナー』に、創心會グループ法人の合同会社ど根性ファームが紹介されました。



企業概要

会社名	合同会社 ど根性ファーム
事務所	710-1101 倉敷市茶屋町2102-14
畑所在地	笠岡市干拓地内
加工場	〒714-0098 笠岡市十一番町11番地46
TEL	086-420-1500
FAX	086-428-0946
設立	2012年3月30日
生産面積	3.5ha (平成27年2月)
代表者	二神 雅一

商品について

ネギ

年間60トンのネギを加工工場へ向けて出荷し、一部はデイサービス配食に使用されています。今後5年で、年間150トンの出荷体制を敷くことが目標にしています。農福連携のネギ加工事業で6次産業化法認定(平成26年10月)。

成果の
POINT

ネギの生産・加工に、NPO未来想像舎和久(就労継続支援B型事業)のご利用者様と連携できました。商品は、ラーメン・うどん店、カット野菜工場など10数社へ卸販売を実現。地域の一般消費者に提供され、継続的な受注を受けられることにより、農業と障がい者就労支援の循環型モデルを成立させることができました。

基本方針

1. 障がい者社会参加機会の拡充
2. 若者の農業体験、子どもへの農業体験・食育
3. 地産地消・自製自販(関連企業での配給食出荷)
4. 環境配慮循環型農業の実践(減農薬・減化学肥料・食物リサイクル)

9日は、執行役員の山田浩貴さんがパネリストとして登場。

おかやまコープ、源 吉兆庵など、有名企業の農業参入と一線を画す事業目的で、聴衆の耳を引き付けていました。

介護事業からの気づき、ご利用者様のニーズを追求していったことからの農福連携システム発想、それを推進した結果、障がい者の就労支援から一般就労に繋がれた成果を紹介しました。

ど根性ファームの設立から2年、自然相手である故に、苦労は絶えないながらも、想いを持って取り組んでいくと、必ず助けてくれる方がいました。

これまでの支援者の方に感謝の念を深く述べながら、今後も農福連携に邁進していくと力強く述べられました。

10日は、現地研修会に50名の方が訪れました。参加者の中には、弊社が大変お世話になった企業、経営者の皆さんも参加されており、御礼とご報告の場となりました。就労支援のご利用者様たちは、いつものように元気に笑顔で作業活動に勤しんでおられました。収穫されたばかりのネギが見るうちに出荷用に仕分けられていきます。見学者の方に作業の質問をされ、上手く説明対応をされた方もおり、良い経験であり刺激になっていたようです。

農業生産、加工販売業については、全くの初心者スタートだった弊社ですが、基本方針に基づいた、歩みを続けた結果、設立から4年目にして、地域社会に独自の経験を還元するという機会をいただけて光栄です。今後も創心會グループは各分野での事業推進を通じながら、地域に根差した社会的貢献活動の推進に取り組んで参りたいと思います。

